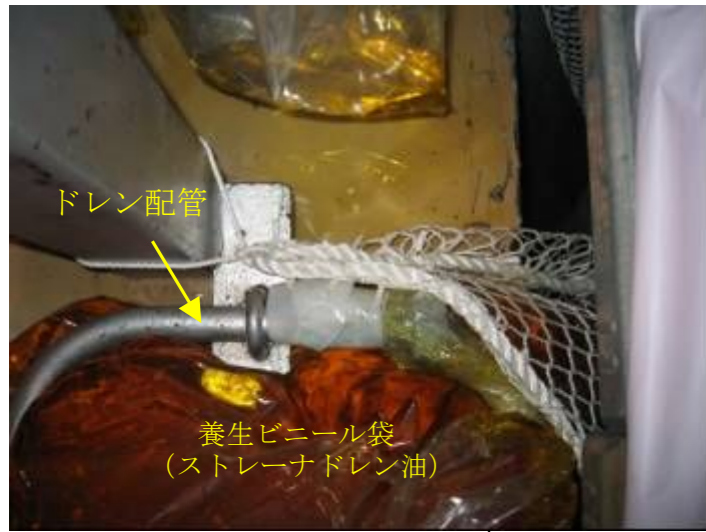


区分：Ⅲ

場所	7号機	
件名	タービン建屋における油漏れについて	
不適合の概要	<p>当所7号機は定期検査中ですが、1月16日午前11時頃、タービン建屋1階の発電機下部（非管理区域）において、床面に油だまり2箇所（合計約1リットル）があることを作業中の当社社員が発見しました。</p> <p>現場を確認したところ、タービン建屋2階（管理区域）で発電機軸受潤滑油ストレーナ*¹内にあった残油を抜くためにドレン弁を開けており、残油が発電機分解点検のためドレン配管取り外し部分に取り付けていた養生用ビニール袋から溢れ、相分離母線収納箱*²と発電機下部床（鉄板）の継目シール部から、タービン建屋1階の発電機下部に滴下したものと推定しております。</p> <p>現在、ドレン弁を閉め当該箇所の養生等の見直しにより、漏えいは停止しております。床面等に溢れた油については、拭き取りを実施しました。</p> <p>漏れた油は放射性物質を含んでおらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>*1：発電機軸受潤滑油ストレーナ 発電機軸受に供給される軸受油の異物等を除去するもの。</p> <p>*2：相分離母線収納箱 発電機から主変圧器までの間、発電機から中性点接地装置までの間の母線を収納している箱。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / <u>その他設備</u></p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要 <input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要 <input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>今後、原因等について調査します。</p> <p>本事象は【中越沖地震】に関連する事象ではありません。</p>	

7号機タービン建屋 油漏えい経路図

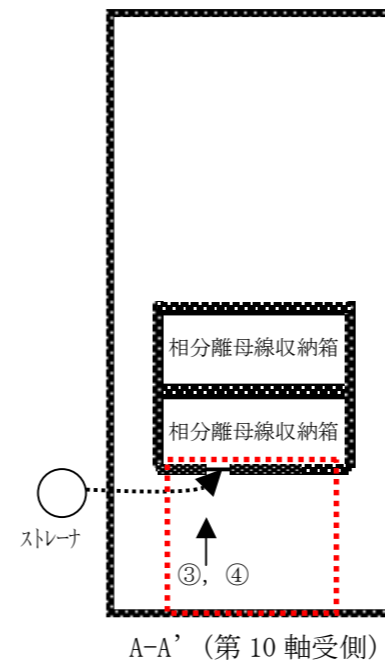
①軸受潤滑油ストレーナドレン配管



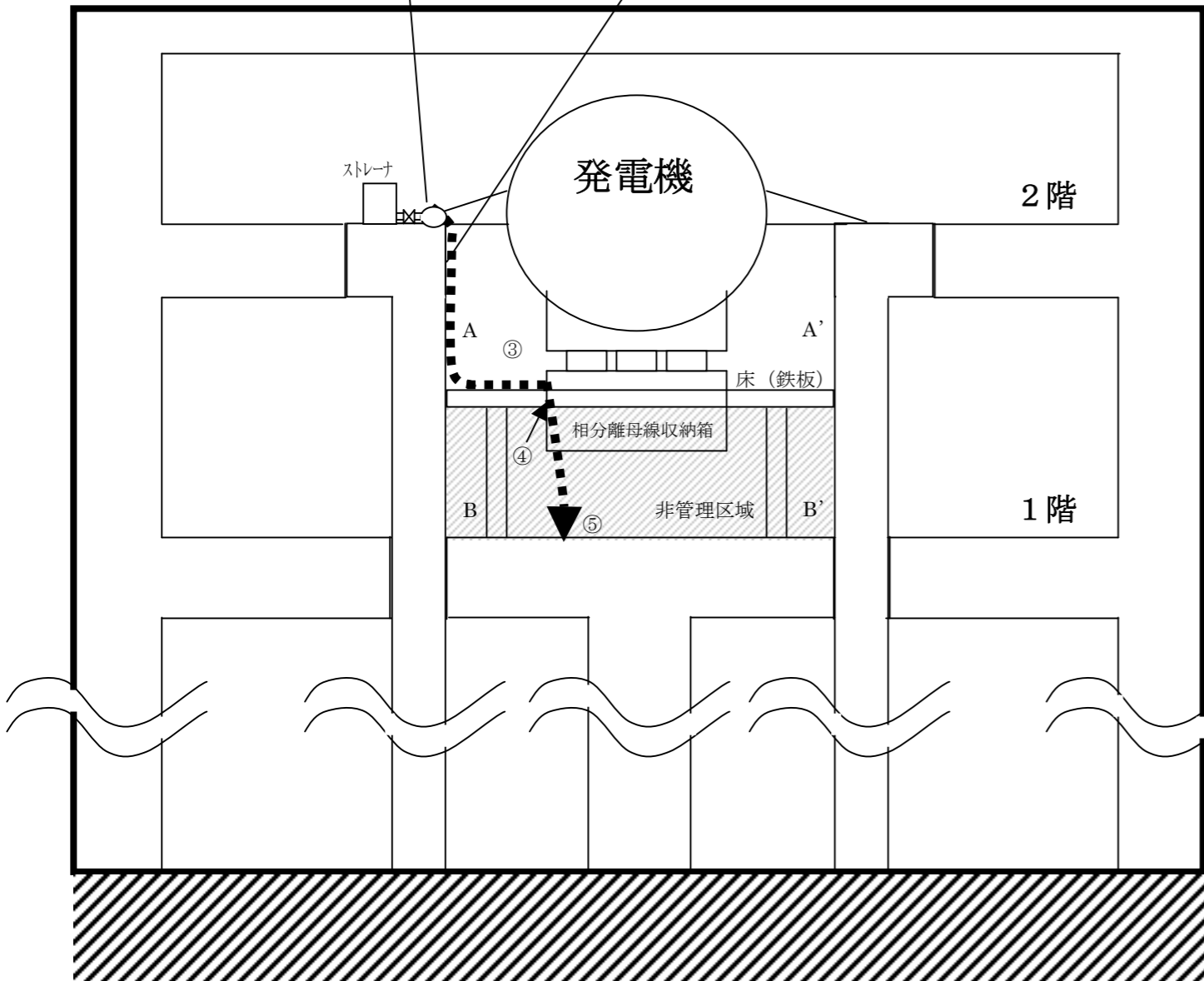
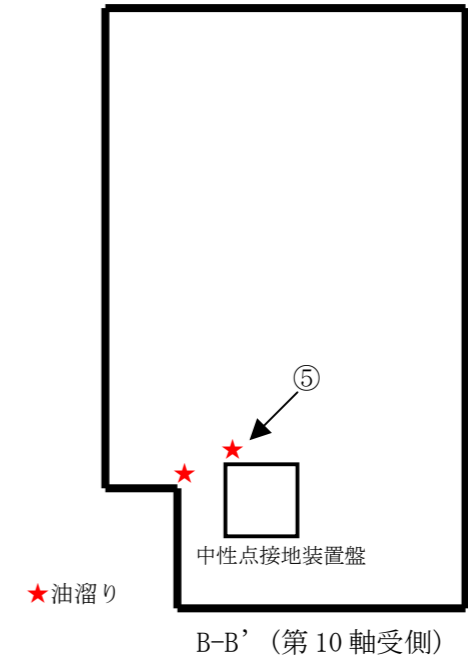
②発電機わき壁面



発電機下部床（鉄板）エリア
(第9軸受側)



1階エリア
(第9軸受側)

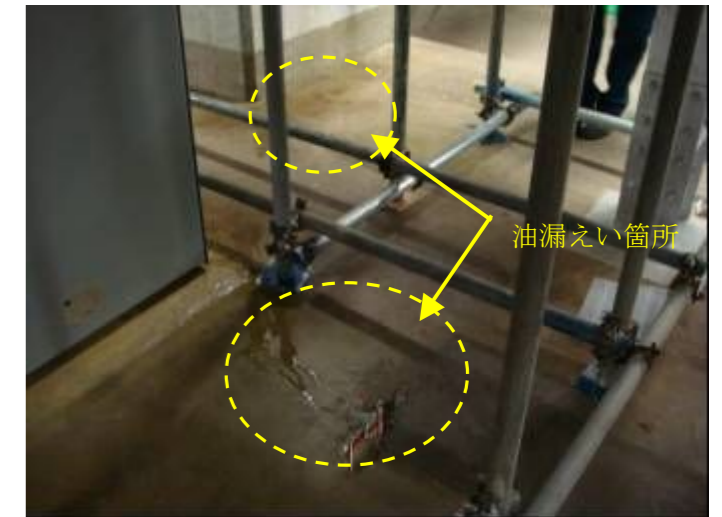


タービン建屋断面

③発電機下部床（鉄板）エリア（管理区域）



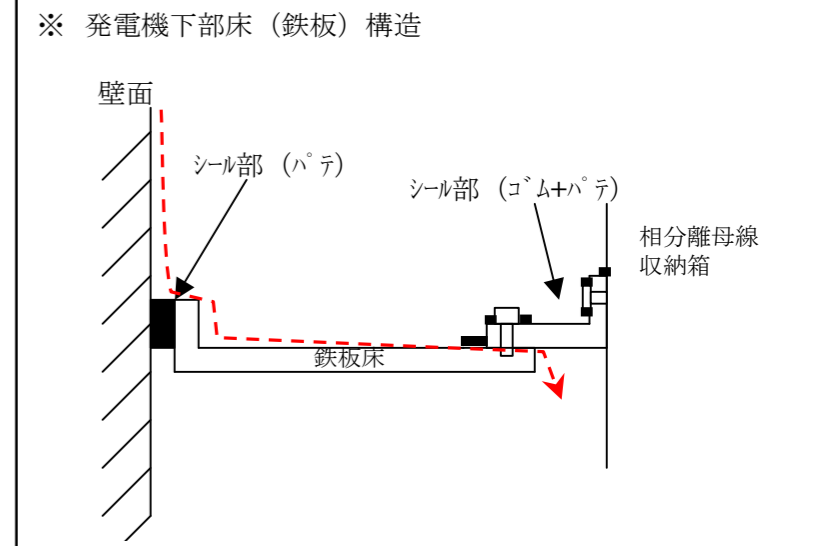
⑤油溜り



④相分離母線収納箱と床（鉄板）シール部（非管理区域）
<相分離母線収納箱側>



<壁側>



※ 発電機下部床（鉄板）構造